



# 竹内街道・横大路(大道)～難波から飛鳥へ日本最古の官道～ ガイド付ウォーキングイベント

## 大阪市中央区

コース  
マップ

難波大道の起点である難波宮跡をはじめ、さまざまな史跡を巡り、街道を感じながら回るコース。

### 日本遺産認定歴史の道、竹内街道・横大路(大道)とは

推古天皇21(613)年に敷設された竹内街道・横大路(大道)は、外交の玄関口である難波津から堺を経て、政治の中心だった飛鳥・小麿田宮(おはりだのみや)を結ぶわが国最古の官道。総延長約40キロ、幅20メートル以上だったといわれる。難波宮の朱雀大路から南下する難波大道、堺と長尾神社(奈良県葛城市)を東西に結ぶ竹内街道、長尾神社から小西橋(桜井市)を結ぶ横大路の三つの道からなる。古代以来、大陸との外交や聖德太子信仰、物流の拠点を結ぶ経済など、時代とともに多様な表情を刻んできている。平成29(2017)年に日本遺産に認定された。

主催:竹内街道・横大路～難波から飛鳥へ日本最古の官道「大道」～活性化実行委員会 共催:産経新聞社  
(大阪府・大阪市・堺市・松原市・羽曳野市・太子町・奈良県・葛城市・大和高田市・橿原市・桜井市・明日香村)

ガイド:NPO法人大阪観光ボランティアガイド協会

文化庁 令和元年度文化芸術振興費補助金  
(地域文化財総合活用推進事業)



### ④法円坂倉庫群

1987(昭和62)年に行われた発掘調査で発見された5世紀後半頃の巨大な建物群。16棟以上の高床建物が東西方向に並び、厳密な計画のもとに建てられていました。1棟の規模は幅が約10m、奥行き約9mと、当時としては極めて大規模で、百舌鳥や古市に巨大な古墳を築いた大王が、強大な権力を内外に誇示するために造ったものと思われます。柱の配置から、屋根の形は入母屋造りになると思われます。6~7世紀には、付近一帯にたくさんの建物が建てられるようになります。難波津と呼ばれる港を中心に、物資の大集散地として発達しました。また中国や朝鮮からの外交使節を迎える、遣隋使や遣唐使が発着するなど、海外に開かれた玄関として重要な位置を占めました。



### ⑤難波宮史跡公園

大化の改新にともなう難波遷都以来約150年間、難波宮は日本の古代史上に大きな役割を果たしました。長年にわたる発掘調査の結果、前期・後期2つの時期の難波宮跡が、中央区法円坂一帯に広がっていることが明らかになり、現在、内裏・朝堂院などの中枢部が、国の史跡に指定されています。



### ⑥難波宮内裏東方遺跡

難波宮の中心である内裏や朝堂院から約200m東方にあります。1968(昭和43)年に行われた発掘調査で、見つかった回廊や堀などを地表面に表示しています。古代の宮殿では回廊は中心部の重要な個所にしか用いられていませんので、重要な施設があったことが分かります。

その後に行われた東側敷地の調査で、これに連続する回廊、高床式倉庫や望楼かと思われる建物跡などが発見されました。またこれらの遺跡が前期難波宮のものであることもわかりました。これらをまとめて「難波宮内裏東方遺跡」と呼んでいます。



### ⑦越中井

この付近は細川越中守忠興の邸跡で、越中井はその邸内にあったものといわれています。1600(慶長5)年、関ヶ原戦の直前、忠興が家康に従い上杉攻めに出陣中、石田三成は在坂諸大名の妻子を人質にしようとしたが、忠興夫人玉子(洗礼名ガラシャ)はこれに従わず、家臣に胸を突かせて37歳の生涯を閉じました。近くのカトリック教会には、ガラシャ夫人像とキリスト大名の高山右近像があります。



### スタート 大阪城(大手前広場)

- 開館時間(大阪城天守閣):9:00~17:00(入館は16:30まで)
- 入館料:大人600円、中学生以下無料 ●休館日:12月28日~1月1日
- TEL:06-6941-3044(大阪城天守閣)

豊臣秀吉が造り、秀賴の時代「大坂夏の陣」で焼け落ちた天守閣は、徳川秀忠によって再築されますが、その後、落雷で再び焼失。現在の天守閣は1931年に市民の寄付によって完成したものです。大手門は大阪城に4つある出入口のうちの表玄関に当たる「大手口」にある門で、江戸時代に高麗門形式で造られ、国の重要文化財に指定されています。



### ②大阪歴史博物館

- 開館時間:9:30~17:00
- 入館料:一般600円
- 休館日:火曜(祝日の場合は翌日)  
年末年始
- TEL:06-6946-5728

古代から現代に至るまで、フロアごとに様々な時代の大阪の姿を紹介する体験型の博物館。館内では豊富な実物資料や映像が見られるほか、大阪城や日本遺産の難波宮跡を一望することもできます。



### ①生國魂神社・お旅所

正式名称は生國魂神社元宮(もとみや)。お旅所とは、一般に神様が神社から外へ出かけられるときの休憩所、仮にとどまる場所をいいます。

神武天皇は日本統一のため九州を船出し、瀬戸内海を通って大阪湾より再上陸を果たしました。その時、着岸した難波津で日本列島の国魂、生島(いくしま)神と足島(たるしま)神の2神を祀りました。これが後に生國魂神社となり、この地にあったが、豊臣秀吉の大坂城築城に際し、現在地の天王寺区生玉町に遷宮されました。



### ③緑の一里塚

一里塚は、かつて街道を旅する人々にとって里程の目印であり、塚上の木が作りだす木陰は一般的な休憩所でもありました。2013年、竹内街道敷設1400年を記念して、地域の皆さんと協働で日本遺産である竹内街道・横大路沿いに「緑の一里塚」が整備されています。ぜひ街道めぐりの際に見つけて下さい。



### 9玉造稻荷神社

●TEL:06-6941-3821

稻倉魂命(うかのみたまのみこと)ほかを祀る。古い歴史を持つが、たびたびの兵火で記録が少ない。1603(慶長8年)、豊臣秀頼により社殿が再建されたが、大坂の陣で焼失。しかし、現在残る石鳥居はそのときのものという。場所は急崖に面し、東側がひらけ眺望が良く、起伏に富む地形であった。それを少しでも平坦化するため、1789(寛政元年)、川ざらえで出る土砂を市民が運び込む「砂持(すなもち)」が行われた。この時は大坂三郷はもとよりそれ以外からも、揃いの着物を着た老若男女が集まり、約1カ月も賑わったと伝える。

なお、この付近は古代勾玉などを作った玉作部の居住地ともいう。

